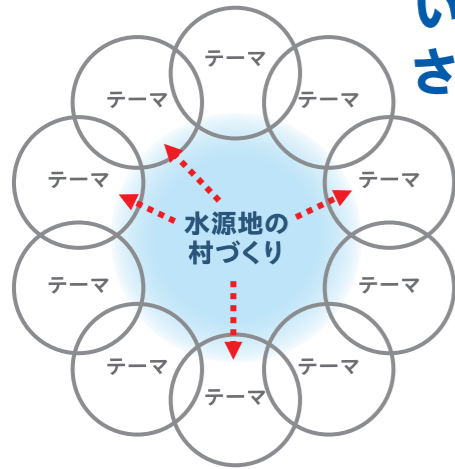


### 「できあがり!」ではなく これからみんなでつくり上げていくものです。

この第6次川上村総合計画「基本構想」は、これから10年をかけてすすめる村づくりの目標とテーマを示しているものです。これにもとづき、より具体的な中期的計画(概ね5年先までを対象)とし、さらに毎年度、毎年度の事業計画として、村民のみなさまにとどく、そしてみなさまとつながる“仕事”にしていく最初の入口にあたるものです。



### いつもテーマの重なりを意識し さまざまな人々とかかわりながら進めます。



ご覧いただいておりますとおり、10のテーマには、どれにも共通することがあります。それぞれのテーマに、それぞれが取組んでいれば大丈夫という考え方でなく、自分の役割によ

って「どれと、どのテーマに関係しているか」ということを日々考え、多様な関係者と声を掛け合いながら進めていきます。



### いつでもお声を きかせてください。

総合計画にもとづいて、どれくらい村づくりが進んでいるか、村民のみなさまにもできるだけわかりやすくおわかりいただけるように、これから工夫をまいります。

また、いつまでも川上村が大切にしていけることは何か? いま解決を急ぐことは何か? 未来に向けて取り組むべきことは何か? いつも村民のみなさまの声を聴きながら進めてまいります。

策定にあたり川上村長から  
諮問を受け設置された  
「川上村総合計画策定審議会」からの答申にも  
以下の観点が示されています。

今後の村づくりにあたっては、この総合計画に即して諸施策を着実に進めることが必要であり、そのためには諸施策を連動して行うことが求められます。村民はじめ関係者の本当の声を適切に把握しながら、事業の目的を見失うことなく村づくりを進めていくとともに、その計画の進捗について確認ができる体制づくりにも取り組まれるよう申し添えます。



いつまでも みんなで  
誇りのもてる  
水源地の村づくり

### 「いのちを守る 水を守る 未来を創る」

川上村は、日本有数の清流・吉野川の源流を抱く「水源地の村」として、その恵みを守りながら生きてきました。水は命の源であり、私たちの暮らしを支えるかけがえのない財産です。この水を守ることは、すなわち人工林・天然林を含む山を守ることでもあります。このことは、川上村の存在意義であり、地域の自然と文化、そしてここに暮らす私たちの誇りでもあります。

「川上宣言」の理念のもと、私たちは水源地としての責任を果たし、持続可能な「水源地の村づくり」に取り組んできました。気候変動や人口減少といった新たな課題に直面する中でも、豊かな水と森を守り、人が安心して暮らし続けられる村づくりを進めていくことが、私たちの使命です。

この度策定する第6次川上村総合計画では、自然と共生する暮らしを育み、村の魅力を次世代へとつないでいくための方向性を記しています。

村民の皆様とともに、川上村の未来を創り上げていきましょう。

令和7年3月 川上村長 泉谷隆夫

発行 令和7年3月  
発行者 奈良県川上村

連絡先 〒639-3594  
奈良県吉野郡川上村大字迫1335番地の7  
TEL:0746-52-0111 FAX:0746-52-0345  
問合せ先 川上村水源地課  
ホームページ <https://www.vill.kawakami.nara.jp>

総合計画では、10年後のあるべき姿を設定するだけでなく、変化のある時代背景の中でも、川上村が一定の考え方をもち、村づくりを進めていくための“心構え”を示しました。“何を大切に、こだわるのか”を日々ふりかえる「村づくりの目標」と「目標を達成するためのテーマ」を定めています。

ひきつづき「水源地の村づくり」の基本的な理念を踏襲し、さらに「住民が安心して住み続けることができる」村づくりに取り組みます。これからも、『川上宣言』に込められた「自分たちが世の中に何を誇ることができるか、地域の誇りということを常に意識してもらいたい」という意図を大切に受け継がれた「誇り」を守るとともに、あらたな誇りを生み出しながら、いつまでも村民一人一人が、ここで暮らし続けていきたいと思う村となるように、次の目標を設定します。

## 村づくりの目標 **いつまでも みんなで 誇りのもてる 水源地の村づくり**

- 「いつまでも」の思い…自然と人が紡いできたこれまでの営みを尊重しつつ、常に先を見越して持続可能な村づくりをめざすという意味
- 「みんなで」の思い…村民一人一人であることはもちろん、役場や事業団体、事業者、また村外で連携・関係する企業・団体、大学、個人との協働により取り組みを進めるという意味

さまざまな変化の中でも、川上村での暮らしが、安全で安定していると  
感じられるサポートを行う。  
地域とつながる機会を増やし、  
Well-beingな毎日の実現を多様な人々と協働で進める。

**山の安全を  
守ること**

**暮らしを  
ささえる  
こと**

**先端技術を  
いかすこと**

これまでのテーマに示した取り組みにおいて、  
先端技術を活用することで、実現の可能性を広げ、  
かかわる人々が増えるようにする。

山の放置を防ぐため、まずは、みんなが身近なところにある山と自分とのかかわりを考えるようにする。

**自然環境を  
大切にすること**

**活躍する場を  
つくること**

村民とともに、さまざまな主体がかかわり、  
活躍する場面ができるように、  
必要なサポートを行う。

水を育むところに暮らすものとして、豊かな森林や河川の  
価値を再認識する。  
その価値を、流域をはじめ外部の人が、  
理解してくれることを忘れず、村民とともに進める。

いつまでも みんなで 誇りのもてる  
**水源地の村づくり**

水源地の村としてのこだわりや大切さを伝え、  
来訪者に共感してもらえる付加価値の高い観光  
コンテンツづくりを進め、効果的に発信をつづける。

**移住・定住を  
ささえること**

を達成するための  
**「10のテーマ」**

**観光で経済効果をもたらし  
すること**

川上村が大切にしてきたことや取り組んできたこと、  
価値観に共感しあえる仲間を増やしていくことを目指し、  
発信をつづけていく。

これまでの多様なつながり先が、それぞれ「川上村の  
何に共感しているか」を常に考えて、村の課題解決が、  
相手にとっての価値ともなる“つながり”をつくる。

**特色ある教育で  
人財を育む  
こと**

**地域の  
いいところを  
受け継ぐこと**

**交流・連携で  
協働する  
こと**

広い世代が、社会や地域とつながりながら、日々新しい気づきや  
発見に富む機会をつくる。  
学校にも地域の人々が多くかかわり、  
日常的に村ならではの経験が積み重なるようにする。

外部の目線を取り入れながら、行事や文化など地域の価値を住民が  
再認識できる機会をつくる。  
継承していく難しさを共有したうえで、  
新たな住民や大学・企業などに力を借りその方法を考える。

各テーマを川上村役場や関係団体が事業化したり、地域のみなさんの活動として取り組んでいただいたりすることで、実行していきます。